



A 試合会場レポート

試合番号 005

開催日 2017/05/06

第66回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会

会場：大阪市中央体育館

観客数： 3,300	開始時間： 14:45	終了時間： 16:15	試合時間： 01:30	主審： 千代延 靖夫	副審： 浅井 唯由
------------	-------------	-------------	-------------	------------	-----------

東レアローズ



監督：小林 敦
コーチ：篠田 歩

通算：0勝 1敗
勝点：1

0	23	第1セット 【00:27】	25	3
	29	第2セット 【00:32】	31	
	17	第3セット 【00:25】	25	
		第4セット 【 】		
		第5セット 【 】		

勝点 1 【】内はセット時間 勝点 2
()内は交代選手

パナソニックパンサーズ



監督：川村 慎二
コーチ：古田 博幸

通算：1勝 0敗
勝点：2

<監督コメント>

3冠を目指して戦いに臨んだが大会だったが、3冠を達成できず非常に悔しい思いをした。
来シーズンに向けて大きな宿題を頂いたので、更に鍛錬を重ねて強いチームとなって、戻ってきたいと思う。
今シーズンも沢山の応援、ありがとうございました。

<監督コメント>

東レの粘りに苦しめられたが、取り切れた事は明日にもつながる試合になった。
スタートからよい集中力で勝ちに拘った執念が前面に出た試合だった。
明日もよいモチベーションで闘い抜きたい。
本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。
今シーズン最後の試合、よい形で終わるように、頑張りたいと思う。

23	李 博	鈴木	第1セット	福澤	深津	25
	(梅野)	()		(専田)	(池田)	
	藤井	ジョルジェフ		山内	白澤	
	(佐野)	()		(関田)	()	
	米山	富松		清水	ミハウ	
	()	()		()	()	

リベロ： 井手 リベロ： 永野

29	藤井	李 博	第2セット	福澤	深津	31
	(佐野)	(梅野)		(専田)	(池田)	
	米山	鈴木		山内	白澤	
	()	()		(関田)	()	
	富松	ジョルジェフ		清水	ミハウ	
	()	()		()	()	

リベロ： 井手 渡辺 リベロ： 永野

17	李 博	鈴木	第3セット	福澤	深津	25
	()	()		()	(渡邊)	
	藤井	ジョルジェフ		山内	白澤	
	()	()		()	()	
	米山	富松		清水	ミハウ	
	(星野)	()		(関田)	()	

リベロ： 渡辺 リベロ： 永野

	()	()	第4セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ： リベロ：

	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	

リベロ： リベロ：

<要約レポート>

天皇杯、2016/17V・プレミアリーグとの三冠がかかる東レアローズと、3年ぶりの優勝をめざすパナソニックパンサーズが準決勝で対戦した。
第1セット、パナソニックは安定したサーブレシーブからセッター深津の速いトス回しでクビアクや福澤の効果的なアタックが決まり、リードを奪った。東レもセッター藤井がジョルジェフを中心に攻撃を組み立て追い上げたが、パナソニックは清水がバックアタックを連続で決めて、このセットを取った。
第2セット、パナソニックは清水を、東レはジョルジェフを中心とした打ち合いで、デュースに突入した。東レは李のブロックでセットポイントを奪うが、パナソニックは清水とクビアクのアタックで逆転し、このセットの熱戦を制した。
後がなくなった東レは、第3セット、スタートからリベロに渡辺を起用し、守りを固めるが、パナソニックは清水のサービスエースで16点目を取ると、白澤、福澤の連続ブロックでリードを広げ、最後は福澤のアタックが相手ブロックを弾き飛ばし、勝利した。東レは初の三冠にもう一步届かず涙をのんだ。

作成者：山口 岳夫